

産地パワーアップ事業
都道府県事業評価報告書

地域再生協議会名	地区名	整理番号	作物名	取組内容	成果目標の具体的な内容	目標数値			地域（県又は国）の価格（単価）		補正係数	価格補正後の実績	事後評価の検証方法	達成率（%）	地域協議会の評価	都道府県の評価	その他
						計画時	目標	実績	事業実施前	目標年度							
田野町地域農業再生協議会	田野町	1	施設野菜（ナス）	施設野菜産地の形成の推進 ①高度な環境制御技術等の導入による高収量・周年・計画生産の取組	販売額の10%以上の増加 （目標：18.5%の増加）	3,433千円/10a (H28)	4,080千円/10a (R3)	4,347千円/10a (R3)	269円/kg	272円/kg	1.240	5,390千円/10a (R3)	①現状値：各生産者の平成28年の販売額、面積の合計から算出。 ②目標値：以下の式により計算した生産者ごとの目標販売額の合計と合計面積より算出 目標販売額（千円）＝現状販売額（千円）×増収率（%） ③実績値：各生産者の令和3年の販売額、面積の合計から算出。 ④達成率：(③-①)/(②-①)×100	302.6	栽培面積は目標に届かなかったものの、出荷量及び販売額は目標を達成し、毎年順調に伸びている。 事業効果が発揮されたものと考えられる。 ①引き続き、より効率的な営農を行うため、随時情報提供を行うとともに、県、町、JA等関係機関と連携し、栽培指導を行う。	事業で導入した機器等による栽培管理に務めた結果、成果目標を達成した。 しかし、栽培面積については、徐々に増加しているものの、目標を下回ったことから、今後も関係機関と連携し、栽培管理に関する指導を行うとともに、規模拡大を希望する農家に対する支援を行うことで、栽培面積の拡大に向けて取り組む。	
安田町地域農業再生協議会	安田町	1	施設野菜	施設野菜産地の形成の推進 高度な環境制御技術等の導入による高収量・周年・計画生産の取組	販売額の10%以上の増加 （目標：15.9%の増加）	3,747千円/10a (H28)	4,341千円/10a (R3)	3,859千円/10a (R3)	ナス：461 トマト：978 ピーマン：561 ミョウガ：1,870 円/kg	ナス：403 トマト：1,230 ピーマン：501 ミョウガ：1,818 円/kg	ナス：1.145 トマト：0.795 ピーマン：1.120 ミョウガ：1.029	4,251千円/10a	①現状値 平成28年の生産者の販売額の合計 ②目標値 令和3年の生産者の目標販売額の合計 ③実績値 令和3年の生産者の販売実績合計 ④達成率：(③-①)/(②-①)×100	84.8	産地全体として労働力不足により栽培管理が不十分であったこと、8月9月の長雨の影響等により病害虫が発生したことが要因となり、秀品率が低く、単価が下がったため、目標未達となった。 引き続き、関係機関と連携を図りながら、病害虫防除等栽培管理に関する指導を行うとともに、労働力確保に資する情報提供や栽培管理の遅れを最小とできるような巡回指導を行うことで目標達成を図る。	高齢化により産地規模が縮小傾向にあり、秀品率低下により単価安につながったため、成果目標は未達成であった。 今後は、産地面積の維持に向けて新規就農者等後継者の確保に努めるとともに、JA等の関係機関と連携し、労働力の確保に向けた情報共有、栽培指導等を行うことで目標達成を目指す。	
芸西村地域農業再生協議会	芸西村	2	野菜（ナス）	ナス産地の維持・発展 ・低コスト耐候性ハウスの導入による面積拡大 ・環境制御装置の導入により収量の増加	販売額の10%以上の増加 （目標：147.6%の増加）	290,174千円 (H28)	428,145千円 (R3)	435,867千円 (R3)	461円/kg	372円/kg	1.240	540,475千円	①現状値 平成28年の生産者の販売額の合計 ②目標値 令和3年の生産者の目標販売額の合計 ③実績値 令和3年の生産者の販売実績合計 ④達成率：(③-①)/(②-①)×100	181.4	各農業者が規模拡大等に取り組んだことで産地の規模も拡大し、面積、販売額は目標を達成した。 出荷量についても概ね目標値まで近づいているため、引き続き、県農業振興センター等の関係機関と連携し、出荷量及び販売額の増加に向けて取り組む。	事業で導入した機器等による栽培管理に努めた結果、成果目標を達成した。 出荷量は目標を下回ったが順調に増加しているため、引き続きJA等関係機関と連携し、栽培管理等に関する指導、助言を行う。	
四万十町地域農業再生協議会	四万十町	2	施設野菜（ミョウガ）	ミョウガ産地の形成の推進 ①土壌病害回避、生産量増加のための養液栽培の導入 ②環境制御技術（栽培測定装置、日射比例灌水装置他）等の新たな技術の導入 ③ハウスの強靱化（補強パイプ等の導入）による栽培期間の拡大	販売額の10%以上の増加 （目標：12.5%の増加）	6,267千円/10a (H28)	7,050千円/10a (R3)	6,496千円/10a (R3)	1,870円/kg	1,521円/kg	1.230	7,990千円/10a	①現状値：H28実績から算出 生産者ごとにH28年の販売額を合計 ②目標値：R3年計画から算出 ③実績値：R3年実績から算出 ④達成率：(③-①)/(②-①)×100	220.1	事業により養液栽培装置等を導入した結果、単収が向上し、出荷量が大きく増加したことから、価格補正後の達成率は220.1%と目標達成した。 しかし、農家の高齢化等により栽培面積が減少していることから、関係機関と連携し、新規就農者の確保・定着に向けた指導、助言を行っていく。	事業で導入した機器等による栽培管理に務めた結果、反収が増加し、成果目標を達成した。 しかし、高齢化により産地規模が縮小傾向にあることから、栽培面積及び出荷量は、目標を下回ったため、関係機関と連携し、雇農する農家のハウスと規模拡大を希望する農家のマッチング等、面積維持のための支援を行うとともに、さらなる増収に向けた栽培管理指導を行っていく。	

地域再生協議会名	地区名	整理番号	作物名	取組内容	成果目標の具体的な内容	目標数値			地域（県又は国）の価格（単価）		補正係数	価格補正後の実績	事後評価の検証方法	達成率（%）	地域協議会の評価	都道府県の評価	その他
						計画時	目標	実績	事業実施前	目標年度							
高知県農業再生協議会	東部地区	1	施設野菜	環境制御技術等の導入による産地の維持・発展 ・環境制御機器等の導入による品質・収量の向上に向けた取組を推進 ・ハウス整備等による規模拡大	販売額の10%以上の増加 (目標: 14.9%の増加)	3,992 千円/10a (H28)	4,586 千円/10a (R3)	5,075 千円/10a (R3)	キュウリ:387 シントウ:1,629 ピーマン:561 ナス:461 ミョウガ:1,870 アスパラガス:1,334 円/kg	キュウリ:344 シントウ:1,567 ピーマン:501 ナス:403 ミョウガ:1,818 アスパラガス:1,497 円/kg	キュウリ:1.125 シントウ:1.039 ピーマン:1.120 ナス:1.145 ミョウガ:1.029 アスパラガス:0.891	5,749 千円/10a	①現状値 平成28年度 生産者ごとの販売額の合計から10a当たり販売額を算出 ②目標値 令和3年度の生産者ごとの目標販売額の合計から10a当たり販売額を算出 目標販売額(千円) = 現状販売額(千円) × 増減率(%) ③実績値 令和3年度実販売額の合計から10a当たり販売額を算出 ④達成率: (③-①)/(②-①) × 100	295.8	事業導入した機器や資材をうまく活用した栽培管理の実施により、10a当たり販売額は目標を達成できなかった。 しかし、産地の高齢化や労働力不足もあり栽培面積の減少から収量は目標に届いていない状況である。このため、引き続き産地内での就農相談や労働力の確保に向けた情報提供を継続して実施していくとともに、事業導入した機器・資材の効果的な活用方法と、病害虫防除等の栽培指導についても、個別巡回や勉強会で指導していくことで、産地全体の栽培面積の拡大、所得向上に取り組む。	事業で導入した機器等による栽培管理に努めた結果、成果目標を大きく達成している。 しかし、高齢化による産地規模の縮小により、面積及び収量は目標を下回っていることから、関係機関と連携し、引き続き離農する農家のハウスと規模拡大を希望する農家のマッチング等、面積維持のための支援を行うとともに、さらなる増収に向けた栽培管理指導を行っていく。	
高知県農業再生協議会	中央東地区	2	施設野菜・果樹・花き	環境制御技術等の導入による産地の維持・発展 ・環境制御機器等の導入による品質・収量の向上に向けた取組を推進 ・ハウス整備等による規模拡大	販売額の10%以上の増加 (目標: 14.3%の増加)	3,993 千円/10a (H28)	4,565 千円/10a (R3)	4,053 千円/10a (R3)	キュウリ:387 トマト:978 ニラ:592 シントウ:1,629 ピーマン:561 ナス:461 新ショウガ:1,103 オオバ:3,312 小ネギ:1,068 ニガウリ:613 オクラ:1,029 水菜:346 トウガラシ:1,081 イチゴ:1,338 スイカ:530 ユズ:715 ハウスミカン:904 トルコギキョウ:251 ユリ:322	キュウリ:344 トマト:1,230 ニラ:650 シントウ:1,567 ピーマン:501 ナス:403 新ショウガ:1,082 オオバ:2,973 小ネギ:816 ニガウリ:637 オクラ:1,019 トウガラシ:1,114 イチゴ:1,548 スイカ:517 ユズ:765 ハウスミカン:1,157 トルコギキョウ:247 ユリ:317	キュウリ:1.125 トマト:0.795 トマ:1.120 ニラ:0.911 シントウ:1.039 ピーマン:1.120 ナス:1.145 新ショウガ:1.02 オオバ:1.114 小ネギ:1.309 ニガウリ:0.963 オクラ:1.010 水菜:0.889 トウガラシ:0.970 イチゴ:0.865 スイカ:1.024 ユズ:0.935 ハウスミカン:0.782 トルコギキョウ:1.019 ユリ:1.014	4,174 千円/10a	①現状値 平成28年度 生産者ごとの販売額の合計から10a当たり販売額を算出 ②目標値 令和3年度の生産者ごとの目標販売額の合計から10a当たり販売額を算出 目標販売額(千円) = 現状販売額(千円) × 増減率(%) ③実績値 令和3年度実販売額の合計から10a当たり販売額を算出 ④達成率: (③-①)/(②-①) × 100	31.6	事業で導入した機器による栽培管理を行い、10a当たり販売額の増加に取り組んだが、目標未達成となった。 主に、新型コロナウイルス感染症の影響による労働力不足や病害の発生などで収量や単価がならず、販売額が伸び悩んだことが要因である。 地域を主たる栽培品目で労働力不足による収量の減少の課題となっており、面積、収量が目標を下回ったことから、成果目標は未達成であった。 今後の関係機関と連携し、担い手確保や労働力の確保に向けた情報提供等を行うとともに、増収に向けて導入した資材・機器を適切に活用した栽培管理や病害虫対策について指導助言を行うことで、目標達成に向けて取り組む。	事業で導入した機器等による栽培管理に努めた結果、反収は増加したが、高齢化により産地規模が年々縮小していき、産地の維持のために後継者の確保が喫緊の課題となっており、面積、収量が目標を下回ったことから、成果目標は未達成であった。 地域の主たる栽培品目で労働力不足による収量の減少が顕著であることから、引き続き関係機関と連携し、後継者の確保や新規就農者への支援、労働力確保に向けた情報共有を行うなど、目標の達成に向けて支援を行う。	
高知県農業再生協議会	中央西地区	3	施設野菜・果樹・花き	環境制御技術等の導入による産地の維持・発展 ・環境制御機器等の導入による品質・収量の向上に向けた取組を推進 ハウス整備等による規模拡大	販売額の10%以上の増加 (目標: 13.4%の増加)	4,130 千円/10a (H28)	4,685 千円/10a (R3)	5,169 千円/10a (R3)	キュウリ:387 トマト:978 ニラ:592 シントウ:1,629 ピーマン:561 ナス:461 ミョウガ:1,870 インゲン:518 新ショウガ:1,103 イチゴ:1,338 メロン:896 ユリ:322 カネツツシ:45	キュウリ:344 トマト:1,230 ニラ:650 シントウ:1,567 ピーマン:501 ナス:403 ミョウガ:1,818 インゲン:1,088 新ショウガ:1,082 イチゴ:1,548 メロン:844 ユリ:317 カネツツシ:52	キュウリ:1.125 トマト:0.795 ニラ:0.911 シントウ:1.039 ピーマン:1.120 ナス:1.145 ミョウガ:1.029 インゲン:0.476 新ショウガ:1.020 イチゴ:0.865 メロン:1.062 ユリ:1.014 カネツツシ:0.871	5,463 千円/10a	①現状値 平成28年度 生産者ごとの販売額の合計から10a当たり販売額を算出 ②目標値 令和3年度の生産者ごとの目標販売額の合計から10a当たり販売額を算出 目標販売額(千円) = 現状販売額(千円) × 増減率(%) ③実績値 令和3年度実販売額の合計から10a当たり販売額を算出 ④達成率: (③-①)/(②-①) × 100	240.1	事業導入した機器や資材をうまく活用した栽培管理の実施により、10a当たり販売額は目標を達成できなかった。 しかし、産地の高齢化や労働力不足により栽培面積の減少から収量は目標に届いていないため、引き続き関係機関と連携し、離農する農家のハウスと規模拡大を希望する農家のマッチング等、面積維持のための支援を行うとともに、さらなる増収に向けた栽培管理指導を行っていく。	事業で導入した機器等による栽培管理に努めた結果、成果目標を達成した。 しかし、高齢化により産地規模が縮小し、面積や収量は目標に届いていないため、引き続き関係機関と連携し、離農する農家のハウスと規模拡大を希望する農家のマッチング等、面積維持のための支援を行うとともに、さらなる増収に向けた栽培管理指導を行っていく。	
高知県農業再生協議会	西部地区	3	施設野菜	環境制御技術等の導入による産地の維持・発展 ・環境制御機器等の導入による品質・収量の向上に向けた取組を推進 ハウス整備等による規模拡大	販売額の10%以上の増加 (目標: 11.3%の増加)	4,012 千円/10a (H28)	4,464 千円/10a (R3)	5,076 千円/10a (R3)	キュウリ:387 トマト:978 ニラ:592 シントウ:1,629 ピーマン:561 ナス:461 ミョウガ:1,870 インゲン:518 オオバ:3,312 新ショウガ:1,103 イチゴ:1,338	キュウリ:344 トマト:1,230 ニラ:650 シントウ:1,567 ピーマン:501 ナス:403 ミョウガ:1,818 インゲン:1,088 オオバ:2,973 新ショウガ:1,082 イチゴ:1,548	キュウリ:1.125 トマト:0.795 ニラ:0.911 シントウ:1.039 ピーマン:1.120 ナス:1.145 ミョウガ:1.029 インゲン:0.476 オオバ:1.114 新ショウガ:1.020 イチゴ:0.865	5,116 千円/10a	①現状値 平成28年度 生産者ごとの販売額の合計から10a当たり販売額を算出 ②目標値 令和3年度の生産者ごとの目標販売額の合計から10a当たり販売額を算出 目標販売額(千円) = 現状販売額(千円) × 増減率(%) ③実績値 令和3年度実販売額の合計から10a当たり販売額を算出 ④達成率: (③-①)/(②-①) × 100	244.0	10a当たり販売金額については目標達成できなかった。 しかし、農家の高齢化や休作、品目転換に伴い産地が縮小しており、栽培面積と出荷量については、目標に届いていない状況。 引き続き、担い手確保対策や栽培管理方法の勉強会・定期的な巡回を行い、環境制御技術の普及推進、活用を努めるとともに、栽培状況に応じて細かい指導を行うことで、産地全体の所得向上につなげる。	事業で導入した機器等による栽培管理に努めた結果、成果目標を達成した。 しかし、高齢化により産地規模が縮小し、面積や収量は目標に届いていないことから、引き続き関係機関と連携し、離農する農家のハウスと規模拡大を希望する農家のマッチング等、面積維持のための支援を行うとともに、さらなる増収に向けた栽培管理指導を行っていく。	

地域再生協 議会名	地区名	整理 番号	作物名	取組内容	成果目標の 具体的な内容	目標数値			地域（県又は国） の価格（単価）		補正係数	価格補正後 の実績	事後評価の検証方法	達成率 （%）	地域協議会の評価	都道府県の評価	その他	
						計画時	目標	実績	事業実施前	目標年度								
中土佐町 地域農業 再生協議 会	中土佐町	2	施設野菜 （ミョウガ）	施設野菜（ミョウガ）産地の生産力の強化とコスト削減による産地の維持発展 ・養液栽培循環型灌水装置の導入 ・種茎の予冷庫の導入	生産コストの10%以上の削減（目標：13.5%の削減）	940円/kg (H29)	813円/kg (R3)	1,005円/kg (R3)	-	-	-	-	①現状値：平成29年度の1kg当たりの生産経費。 ②目標値：令和3年度の1kg当たり生産経費。平成29年度の実績値から個別に算出し積算。令和3年度の生産経費/平成33年度の生産量 ③実績額：令和3年度の1kg当りの生産経費。令和3年度の実績生産経費/令和3年度の実績生産量 ④達成率 $(③-①) / ((②-①) \times 100)$	-50.9	現時点では目標未達成となっている。規模拡大に伴う雇用費の増加やみょうがの草勢維持を図るための施肥量の増加があったこと、また、病害虫被害に対する農業員の経費が増加した農業者もいたことが要因と考えられる。 今後は、産地として安定した収量確保に向け、事業効果をより発揮できる肥培管理や病害対策、労務管理に関する指導を、JAや普及員等の関係機関が連携を図っていき目標達成に向けて支援していく。	栽培面積は増加しているが、草勢回復等を目的とした肥培管理の実施や、病害虫防除、規模拡大に伴う投資増などにより経費が増加したことから、成果目標は未達成であった。 今後は、肥培管理や病害虫防除、労務管理等について、JA等の関係機関と連携した指導を行い、経費の削減を図ることで目標達成を目指す。		

都道府県 平均達成率 (%)		79.6	総合所見	県平均達成率が目標未達成となった。 令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響や労働力不足、病害虫被害等の影響による収量減少や販売単価の下落が見られた。今後は、灌水・温湿度・肥培管理や病害虫の適期防除、薬剤のローテーション散布等の栽培管理指導等を関係機関と連携して指導を行うことで、目標達成を目指す。
----------------------	--	------	------	---

成果目標の達成率が80%未満の地域協議会

都道府県名	市町村名	地域協議会名	整理番号	作物等区分 (対象作物名)	成果目標	現状値	目標値 (R2)	事業実施後 (目標年度)	目標達成状況	(参考) 都道府県による改善指導の判断理由
								実績値		
高知県	中土佐町	中土佐町地域農業再生協議会	2	施設野菜(ミョウガ)	生産コストの10%以上の削減 (目標:13.5%の削減)	940 円/kg	813 円/kg	1,005 円/kg	-50.9%	樹勢回復等を目的とした肥培管理の実施や、病害虫防除、規模拡大に伴う投資増などにより経費が増加したことから、成果目標は未達成となった。 増収に伴うコストの合理化について、肥培管理や病害虫防除などについては、ミョウガの生育状況に合わせて適切に行うよう農業者に対する指導を行うことに加え、規模拡大に伴う労務管理についても、関連機関との情報共有のうえ、連携して農業者を支援するよう地域農業再生協議会を指導する必要があると考えたため。
	高知県	高知県農業再生協議会	2	施設野菜・果樹・花き	販売額の10%以上の増加 (目標:14.3%の増加)	3,993 千円/10a	4,565 千円/10a	4,053 千円/10a	31.6%	高齢化による産地の規模縮小や、労働力不足などの要因により目標未達成となった。 今後は、新たな担い手の確保など産地規模の維持・拡大や既存の担い手による生産拡大を図るとともに、労働力の確保に向けた支援を行うよう、協議会を指導する必要があると考えたため。

(注) 1. 本表は、要領第16の4により、都道府県が改善措置の指導が必要とした地域協議会のうち、成果目標の達成率が80%に満たなかった地域協議会(要領第17の2関係)について記入する。

2. 実績欄は、地域(県又は国を含む)の販売単価による価格補正を行っている場合は価格補正後の実績を記入する。